出雲
北陵月報
No. 454
令和5年6月30日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社　印刷

第61回島根県高校総体
第1回中学校出雲ブロック大会
北陵魂奮ふ！

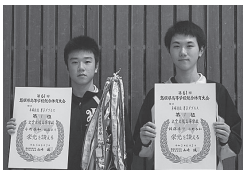
高校男子総合Aグループ第6位

卓球部

男子団体13大会連続16回目の優勝！
個人戦 シングルス・ダブルスを共に制す！

第61回島根県高校総体卓球競技
時　6月1～3日
於　益田市民体育館

〈男子団体〉　**優勝**
〈男子シングルス〉
優勝　小野泰和（2-5北陵）
2位　佐藤卓斗（3-4北陵）
3位　肖　騏駿（1-3広雅）
〈男子ダブルス〉
優勝　佐藤卓斗・小野泰和　組
3位　大村　心（1-3西谷）・肖　騏駿　組


ダブルス優勝の佐藤卓斗（右）・小野泰和

シングルス優勝の小野泰和

○大会総評
昨年に続き、団体・シングルス・ダブルスの3種目完全制覇を果たすことができた。大会期間中のすべての試合がプレッシャーのかかる試合であったが、主将の佐藤卓斗を中心としたチームワークで難局を乗り越えることができた。また、ベンチから声を嗄らして仲間を叱咤激励し続けた卓球部員の力、遠路会場まで応援に駆けつけていただいた保護者の方々の力というものも、選手にとって非常に心強いものであった。温かいご声援有難うございました。

（顧問　古瀬泰之）

13連覇を達成した団体戦メンバー

女子ソフトテニス部

第61回島根県高校総体ソフトテニス競技
時　6月1～3日
於　松江市営庭球場

〈団体戦〉　**2位　中国大会出場権獲得**
メンバー（水永、大庭、木村、岡本、川角、高野、神田、森山）
2回戦　②－0　平　田
3回戦　②－0　安　来
準決勝　②－0　出雲商業
決　勝　1－②　松江南
〈個人戦〉　**2ペア　インターハイ出場**
6ペア　中国大会出場
2位　水永花音（2-5益東）・大庭萌愛（2-3益東）
6位　木村香夏（2-3斐東）・岡本涼香（2-5浜東）
B16　川角莉子（2-5大社）・高野愛未（1-4大一）
B24　果瀬暖花（2-3大一）・栗原奈々（1-5松一）
B32　神田桜奈（3-5浜東）・森山音羽（2-5大一）
北井綺羅（2-5大社）・佐藤　楓（2-3出一）
藤原歩美（3-4出二）・竹下綾香（3-5出三）

○大会総評
団体優勝は叶わなかったが、個人戦では多くのペアが上位大会への出場権を獲得した。今後もそれぞれが課題と向き合い、更に飛躍できるよう取り組んでいきたい。応援有難うございました。（顧問　金森　快）

男子ソフトテニス部

第61回島根県高校総体ソフトテニス競技
時　6月1～3日
於　松江市営庭球場

〈団体戦〉　**3位**
13大会連続中国大会出場権獲得
メンバー（田中、堀江、伊藤、高橋、板垣、田邊、川角、岡田）
1回戦　③－0　大　田
2回戦　②－1　津和野
準々決勝　②－0　松江南
準決勝　0－②　浜　田
〈個人戦〉　**1ペア　中国大会出場**
B16　川角光夢（1-2羽願）・堀江結太（3-4出一）
B32　伊藤　快（2-4出三）・高橋海璃（2-3斐東）
田邊航汰（2-1横田）・岡田隆聖（1-4羽願）

○大会総評
キャプテンを中心に一年間取り組んできたが、結果は目標に届かなかった。3年生が3人と少ない中、それぞれが全力で部活動に取り組み、大きく成長できた一年となった。個人戦では川角・堀江の1・3年ペアが奮闘し、中国大会の出場権を得た。中国大会での上位進出に向けて更に精進したい。

（顧問　河野高幸）

なぎなた部

第61回島根県高校総体なぎなた競技
時　6月4日
於　本校　黎明館

〈演技競技の部〉
優勝　橋垣苺佳（3-3斐西）・寺本春葉（2-4松一）
2位　原　綾音（1-2平田）・郷原奈那（1-1平田）
〈個人試合の部〉
優勝　橋垣苺佳
2位　寺本春葉
※演技・個人共に上位2名が8月5日から北海道で行われるインターハイへ出場

第29回中国高等学校なぎなた選手権大会
時　6月17日
於　斐川第一体育館

〈演技競技の部〉
優勝　橋垣苺佳・寺本春葉
〈個人試合の部〉
優勝　橋垣苺佳
〈団体の部〉
3位決定戦　本校　1－2　比治山女子
○大会総評
演技と個人試合の部でも橋垣が優勝し、演技・個人共に2連覇することができた。団体は4名での出場で1年生2名は防具を付けて4週間ではあったが、会場を盛り上げるいい試合をすることができた。団体入賞はできなかったが、今後に繋がる内容となった。地元で行われ多くの声援、協力をいただけた。有難うございました。

（顧問　井上美代）

男子バスケットボール部

第61回島根県高校総体バスケットボール競技
前期　時　5月25～28日　於　カミアリーナ
後期　時　6月1～4日　於　島根県立体育館

2回戦　本校 93－56 出雲
準々決勝　本校 117－74 浜田商業
準決勝　本校 86－51 益田
決勝　本校 76－77 松江東

準優勝

ベスト5　山根雄輝（3-3湖東）

○大会総評

本校は2回戦からの出場となり、準々決勝まで危なげない試合運びで勝ち上がった。迎えた決勝の大一番、松江東との試合に競り負け、インターハイ出場はならなかった。決勝では、相手チームの勢いに前半から思うような展開ができず、13点のビハインドを背負っての後半となった。ハーフタイムで「相手は優勝を狙って我々に全力で挑んできている。相手のやりたいことを少しでもやらせない。最後まで諦めずひたむきに試合をしよう。」と選手達へ伝えた。彼等も出雲北陵の勝利を信じて最後まで戦ったが、僅か1点差で優勝は叶わなかった。この悔しさを胸に、県選手権では更に成長したチームで戦えるよう精進していきたい。

最後になりましたが、水谷勲先生、校長先生をはじめ、会場で声援をいただいた教職員の皆様、保護者の皆様、女子バスケットボール部員の皆さんに感謝申しあげます。（顧問　手島幹人）

女子バスケットボール部

第61回島根県高校総体バスケットボール競技
時　5月26・27日　於　カミアリーナ

2回戦　本校 81－33 松江西
準々決勝　本校 65－66 明誠

○大会総評

準々決勝の明誠戦では、前半硬さもあり、思うようにプレーができず苦しい展開となった。後半に入って徐々に本来の力を発揮したが、終盤に逆転シュートを決められ悔しい敗戦となった。3年生を中心に、北陵らしい粘りが見られた良い試合であった。この悔しさを忘れず、練習に励みたい。（顧問　篠原勝利）

陸上競技部

第61回島根県高校総体陸上競技
時　5月26～28日　於　松江

梶谷、片岡、藤原、中国大会出場権獲得！

【男子】

梶谷匠千華（3-3向陽）　走高跳　5位
片岡賢晴（2-2平田）　棒高跳　5位
藤原　成（3-2出三）　やり投　6位
東原　舜（3-5出三）　400m　7位
足立康佑（2-4斐東）　走高跳　7位
河原栄太（2-6平田）　3000m sc　8位
男子フィールド競技総合　7位

【女子】

小堀壱華（2-5出一）　3000m　7位

○大会総評

最大の目標とする今大会、まず片岡が棒高跳で入賞したのを皮切りに、男女の1500mで河原、小堀が共に決勝に進み、東原は400mで初入賞した。2日目、主将の藤原が5投目に40mラインを超える渾身の一投で逆転に成功、2年連続の中国大会を決めた。その後も多数の選手が自己記録を更新し、最終日には、梶谷も中国大会出場権を初めて獲得した。

結果、男子はフィールド競技総合の部で7位となり、昨年の8位を上回った。様々な種目に取り組む部員は、課題も多いが、皆が励まし合い日々の練習を行ってきた。それが今回の結果につながったと感じている。また、いつも支えて応援してくださる保護者の方々、グランドに来て声をかけてくれる卒業生の皆さんに感謝したい。今後も、目標を一つ一つクリアしていけるように頑張りたい。

第76回中国高校陸上大会
時　6月16～18日　於　岡山

藤原　成　やり投　出場
梶谷匠千華　走高跳　出場
片岡賢晴　棒高跳　出場

（顧問　別所美喜子）

テニス部

第61回島根県高校総体テニス競技
時　6月1・2日　於　浜山公園

〈男子団体〉
1回戦　本校 ②－1 大社
2回戦　本校 0－② 浜田
〈男子シングルス〉　2回戦敗退
〈男子ダブルス〉　1回戦敗退
〈女子シングルス〉　2回戦敗退

○大会総評

昨年以上にレベルが高い今大会で、3年生が集大成ともいえるテニスを実現してくれて良かったと思う。新チームは今まで以上に頑張らないといけない。保護者の皆様には、応援していただき有難うございました。（顧問　石川剛亘）

サッカー部

第61回島根県高校総体サッカー競技
時　5月26日　於　益田運動公園陸上競技場

1回戦　本校 2［0－3 2－3］6 益田東

○大会総評

今年度も総体が実施され、感謝の思いを持ち、普段の努力の成果を発揮する舞台を得られたことが部員にとって何よりも良かった。また部員にとって大きな節目となる大会であり、強い気持ちで試合に臨んだ。県リーグ1部所属の益田東との対戦となり、序盤では相手の技術、戦術に翻弄され失点を重ねてしまったが、チームとして諦めることなく戦ってくれた。後半には3年生の二人が得点を決め、敗戦の中にも大きな自信と価値を創りだした。そして、最後まで諦めずに戦う北陵らしさを見せてくれた。この経験を次に生かすことができるよう、普段のトレーニングから高い意識と良い雰囲気を作っていって欲しい。最後になりましたが保護者の皆様をはじめ、多くの方々にご協力いただき、有難うございました。（顧問　鈴木雄介）

野球部

令和5年度島根県地区高等学校野球大会
時　5月26・27日　於　平田愛宕山球場

1回戦　本校 5－3 出雲商業
2回戦　本校 2－6 大社

○大会総評

夏の選手権大会に向けて、最後の大会となった。新戦力と春季大会までの戦力が融合し、新たな可能性を感じさせる試合であった。加えて、他校に負けていない出雲北陵の強みを実感することができ、選手は自信と勝利への執着心を掴んだ大会であったと思う。特に、春季大会の島根県王者、大社高校との一戦はとても大きな経験となった。当日は保護者の皆様をはじめ、一般の観客の方々にも温かい声援をいただきました。選手権大会も応援の程よろしくお願いいたします。（顧問　畑　宗一郎）

写真部

「写真甲子園2023」中国ブロック審査会
優勝！2年ぶり3回目の本戦大会出場決定！

応募総数歴代最多の584校となった第30回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2023」。本校は県大会突破し、中国ブロックの決勝に進んだ。全国屈指の激戦区である中国ブロックであるが、今年度は本校が優勝を果たし、7月に北海道で行われる本戦大会（全国大会）への出場権を獲得した。本校からは山岡瑚子（3-1平田）、飯塚真子（3-4出三）、田口誠子（3-4出三）が出場する。快く撮影会に送り出してくださるご家族をはじめ、日頃から支えてくださっている方々への感謝を胸に、挑戦させていただこうと思う。

令和5年度高文連春季写真コンクール
特選14点、入選27点入賞！

時　6月12日
於　松江テルサ

本校からは27人が135点出品し、14点が特選に入賞した。特選は以下の通り。（作品番号順）

「モーメント」　高橋詩織（3-5出三）
「疲れた。」　高橋詩織
「大きな背中」　吉儀竜馬（1-1斐西）
「そろそろ帰ろうか」　飯塚真子
「向こう側」　飯塚真子
「帰り道」　本田　陽（1-2斐西）
「明暗」　西出みき（1-4出一）
「のぞき穴」　原　昊夢（1-4向陽）
「近所の友達」　馬庭葵琳（1-4浜山）
「おーい！」　畑　萌心（1-5木次）
「喜び」　渡部麻華（1-5浜山）
「何の用だ？」　喜多川宗真（2-2出三）
「まなざし」　朝枝佳乃（2-6彦東）
「fly high!」　朝枝佳乃
（顧問　村上　学）

合唱部

イオンモール合唱フェス

時　5月29日
於　イオンモール出雲

イオンモール出雲で開催された合唱フェスに参加した。今年度、新体制になってから初めての本番ステージであった。特に1年生にとっては初めての公式ステージということもあり、適度な緊張感の中、6曲を無事に歌い終えることができた。途中、縦の線がずれたり、ハーモニーが崩れたりするなど、課題も多く見つかった本番ステージであったが、何より人前で演奏させていただく機会を持つことができたことが大きな経験となった。

会場には、校長先生をはじめ、保護者の方、OB・OGなど多くの方にお越しいただき、改めて日頃からいただいている支援に感謝したい思いであった。今回の経験を生かし、更に演奏の質の向上を目指したい。

島根県合唱祭

時　6月11日
於　グラントワ

益田市のグラントワで開催された島根県合唱祭に参加した。この合唱祭は、コロナ禍があけて初めての合唱連盟主催行事であり、参加者全員がマスクをはずして本番ステージに立ち、「歌える」「合唱できる」喜びがひしひしと伝わってくるものとなった。

本校合唱部は、NHKの課題曲「鳥よ空へ」とテーマソングである「アンパンマンのマーチ」の2曲を演奏した。

2曲共に練習の成果を十分に発揮し、ホール一杯に北陵サウンドを響かせた。特に、「アンパンマンのマーチ」では、演奏途中から温かい手拍子をいただき、会場中が盛り上がり生徒達の笑顔もあふれ、充実した時を過ごすことができた。

更にコンクールに向けて、演奏の質の向上を図っていきたい。
（顧問　布野浩志）

吹奏楽部

出雲地区吹奏楽祭

時　6月3日
於　出雲市民会館大ホール

【演奏曲目】
- **オズの魔法使い（H．アーレン）**
- **恋（星野源）**
- **学園天国（井上忠夫）**

出雲地区の吹奏楽部が集う吹奏楽祭が開催された。いずれの学校も新メンバーとなり、コンクールへ向け熱演を披露した。

本校は、全出場団体で唯一となるステージドリルを披露した。短い練習期間ではあったが、部員達は観客の皆様に楽しんでもらえるよう工夫を凝らし、精一杯の演奏演技を行った。吹奏楽祭という名に相応しく、会場は大いに盛り上がっていただけたようで、演奏後には大きな拍手をいただいた。

いよいよコンクールシーズンに突入である。全国大会を目指し、部員一同日々精進していきたい。

山陰工業建設株式会社創立60周年式典

時　6月3日
於　大社文化プレイスうらら館

標記式典の記念公演に出演させていただいた。多くの地域の方が参加されており、盛り上がった式典であった。今後も「地域に愛されるバンド」を目指し変わらず精進していきたい。（顧問　竹内康貴）

第70回 全国高校ワープロ競技大会島根県予選

時　6月10日
於　出雲商業高校

3年生の5名はこれが最後の大会となったが、日頃の練習の成果を十二分に発揮し、最後まで競技に向き合った。

結果は、団体4位（3選手合計2,237ストローク）、個人では須谷知史（3-4北陵）が第2位（1,037ストローク）に入賞し、8月に東京で行われる全国大会に出場することになった。

10分間に持てる技術と集中力を開放するこの競技は、日頃の地道な練習が実を結ぶ。3年間コツコツと積み重ねた結果を示すことができた大会となった。8月の全国大会に向けて、より速く、更に正確なタイピングを目指して練習に励みたい。（顧問　永瀬貴之）

インターアクトクラブ

中海・宍道湖一斉清掃

時　6月11日
於　宍道湖周辺（湖遊館）

この事業は、中海と宍道湖が平成17年に「ラムサール条約」に登録されて以来、境港・米子・安来・松江・出雲の5市で、6月の「環境月間」にあわせて毎年実施されている。

出雲市では、宍道湖畔の斐川会場（出雲空港周辺）と平田会場（湖遊館周辺）に分かれて清掃活動をした。インターアクトクラブは平田会場で生徒11名が参加した。

午前8時に平田湖遊館駐車場へ出雲市役所職員や企業、近隣の家庭からも参加があり、約300人が集結。宍道湖と斐伊川の合流点から、湖岸沿いにゴミ袋と火バサミを持ち、1時間ほど清掃活動をした。ペットボトルやスナック菓子の袋、発砲スチロールなど、多くのゴミを拾うことができた。

スポGOMI甲子園　島根県大会

時　6月17日
於　キララビーチ

日本財団「海と日本PROJECT」の主催により行われるこの大会は、ゴミ拾いをスポーツ化したもので、拾ったゴミの種類と重量をポイント化して競うものである。

インターアクトクラブより3名でチームを組み参加した。結果は14チーム中4位と惜しくも入賞を逃した。参加者はよく動きビーチの清掃に取り組めた。落ちているのは漂着ゴミやポイ捨てされたゴミが中心であり、海ゴミについて考える良い機会になった。
（顧問　柳樂正也）

令和5年度出雲市スポーツ協会表彰

時　5月23日
於　ホテル武志山荘

去る5月23日、ホテル武志山荘にて、令和5年度出雲市スポーツ協会表彰式が行われ、高校卓球部がスポーツ優秀賞を受賞した。令和4年度のインターハイ・国民体育大会・全国高校選抜大会でそれぞれ3位に入賞したことが評価され、この度の受賞となった。

キャリア教育関西研修旅行

時　6月6～8日
於　関西各地（大阪府・兵庫県）

2泊3日の日程で、高校2年生のキャリア教育関西研修旅行を実施した。

令和元年以降、コロナ感染症の拡大に伴い延期と中止が続いていたが、4年ぶりに実施できることになった。また、県外への集団宿泊研修はほとんどの生徒が小学校以来ということもあり、研修期間中の生徒の生き生きとした笑顔がたくさん見られたのが印象的であった。

最初のプログラムである神戸市「人と防災センター」では、阪神大震災の語り部の方から地震の惨状と防災に対する心構え、具体的な対策をお話いただいた。自然災害が頻発し、ここ最近は日本各地で大きな地震も起きていることから、自分自身のこととして真剣にメモを取りながら聞いていた。また、ホテルでは夕食前にイブニングセミナーを開催した。平田ご出身で、現在兵庫県川西市にお住まいの村田勇先生を講師にお招きし、「人生経験から得たこと、伝えたいこと」と題して、御自身のこれまでの足跡をお話いただいた。来年の進路選択、卒業後の自分のキャリア形成に向けて、どんな心構えで努力を積み上げていけばよいのかを、御自身の経験を踏まえて分かりやすく語っていただいた。

2日目からは、クラス別に大学、専門学校への訪問と体験学習、企業や施設での見学やセミナーを受け、これまでできなかった体験活動を通じて刺激を受けることができた。

バスの車中から見える大阪や神戸の町の様子、USJでのあふれんばかりの人並みを見るにつけ、いよいよコロナ禍が開け、人の活動が動き出したように生徒達も実感したことと思う。

この研修を通じて学んだこと、気づいたことを、自身の目標実現や将来への希望のエネルギーにして、力強く歩んでいってくれることを期待したい。

（2年主任　伊藤敦志）

高校1年生　人権教育HR実施

5月29日、1年生は、HRの時間に人権教育を実施した。テーマは「誰もが充実した学校生活を送るために」で、一人ひとりの思いを知り、誰もが努力し、力が発揮できる学級・学校にするという指導目標の下、各クラス担任が身近な人権侵害についてHR授業を行った。

1年生は新しい環境で不安と緊張の中、友達作りなど様々な出会いの中で、相手を思いやる気持ちをこの人権教育で深めることができたと感じる。

本校の校訓「柔しく剛く（やさしくつよく）」は、まさに人権教育の根幹にかかわる意義を持っている。生徒の皆さんには、日々の学校生活の中で、更に人権意識を高めていただきたい。

グループ討議を行う生徒

保育実習

5月29日に北陵認定こども園で高校3年生普通コースの保育系列選択者が保育実習を行った。

当日の天候は、あいにくの雨だったが、元気一杯の子ども達と一緒に歌やダンス、ごっこ遊びなど、様々な活動を行った。また、地域の交番の方による交通安全教室が行われ、交通安全指導にも参加した。実際に子ども達と触れ合う機会が少ない生徒達にとって大変貴重な経験となった。お世話になったこども園の皆様にお礼を申しあげます。

高校1・3年除草作業

5月24日、6月6日の6時間目に高校1年生と高校3年生の除草作業を実施し、校地内及び校地外周の道路脇の除草作業などを行った。いずれも短時間の作業であったが、熱心に取り組み活動することができた。

高校PTA役員

5月23日、本校でPTA総会が開かれ、今年度の新役員は次の方々に決まりました。

会長　藤原　大助　様（3-2）
副会長　塩野　稔昭　様（2-6）
副会長　永田　数子　様（1-5）
監事　伊藤　堅志　様（3-4）
監事　福田　康平　様（2-1）
監事　石賀　裕二　様（1-4）

中学校

第1回 島根県中学校出雲ブロック大会 結果

卓球部

時　6月6・7日
於　斐川第一体育館

【男子団体】優勝（リーグ戦　7勝0敗）
【男子個人】
優　勝　三好蒼空（中3岩倉）
2　位　波多間怜偉（中2龍王）
3　位　金丸　陽（中3西山）
松崎優樹（中2大庭）・水津斗暁（中2日原）
ベスト8
小林麟太郎（中1須西）

○大会総評
チーム力を高め、県総体に向けて頑張りたい。
（顧問　相場翔太）

優勝した団体戦メンバー

右から波多間怜偉、三好蒼空、金丸陽

男子バスケットボール部

時　6月6・7日
於　カミアリーナ

〈予選リーグ〉
1試合目　本校　72－63　斐川西
2試合目　本校　85－27　出雲一
予選リーグ（2勝）1位
決勝戦　本校　50－80　出雲二
2位　県総体出場決定

○大会総評
二日目の決勝戦では、自分達のプレーができず、悔しい結果となった。県総体ではもう一度チームとしてやるべきことを徹底し、中国大会出場を目指して頑張りたい。ご声援有難うございました。
（顧問　多々納厚比古）

野球部

時　6月6・7日
於　浜山球場・浜山少年球場

1回戦　本校　7－4　出雲二中
2回戦　本校　0－7　斐川西中

○大会総評
1回戦出雲二中戦は、点の取り合いとなったが、終盤集中打で相手を突き放し勝利することができた。続く代表決定戦となる斐川西中戦は、中盤まで粘り強く守っていたが、得点を許し敗れてしまった。
3年生はこれが最後の大会となった。この負けた悔しさを、高校の舞台で晴らしてもらいたい。これまでたくさんの応援有難うございました。
（顧問　手錢修司）

第一回校外講師特別講座（座禅と講話）

時　5月24日
於　一畑寺

今年度も歴史と由緒ある一畑寺を訪問し、管長の飯塚大幸様のお世話による座禅と講話の会を実施した。
非現実の静寂に身を置き、警策の音が響く中、自己と向き合う貴重な時間を持つことができた。

【生徒感想】
一畑寺にお参りしたあと講話と座禅がありました。
座禅をさせていただき、今回の経験で感じたことが3つあります。一つ目は昨年より今年の方が集中できていたことです。昨年は周りの音に気をとられていましたが、今年はそのようなことはなく、一心不乱に取り組むことができました。二つ目は座禅に集中することで、自分の気持ちをコントロールできると思いました。呼吸法もあり、座禅をすると心が落ち着いてくる自分を感じました。三つ目はこの経験を普段の生活や部活動に生かしていけたらいいなと感じました。日頃の授業中など、集中が途切れてしまうことや卓球の試合で負けている時や試合の初戦など、緊張している場面で気持ちを落ち着かせるのに、座禅体験は有効であることに気づきました。今日の座禅体験を今後の生活に必ず生かしていきたいと思います。
波多間怜偉（中2王龍）

特別進学コース　授業体験

6月13日、1～3時間目に中学3年生18名が特別進学コースの授業体験に参加した。今年度はコース生徒による学校紹介、探究学習プレゼンテーション、ディスカッションを取り入れた化学の授業があり、その後、英語と数学に分かれて中学生だけの授業体験が実施された。進学指導部の全面的なバックアップにより、例年よりも中身の濃い充実した授業体験をすることができた。生徒達もとても楽しそうに授業に取り組んでいた。素晴らしい体験をさせていただき、心より感謝している。

出雲科学館　理科学習（中学2年）

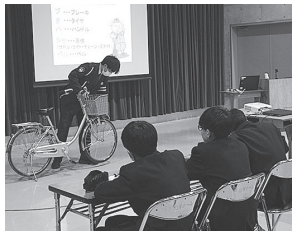
時　5月26日
於　出雲科学館

今年度第1回の出雲科学館理科学習が「物質どうしの化学変化」のテーマで実施され、中学2年生11名が受講した。
1時間目はサイエンスホールにおいて、水素と酸素の混合気体を100mホース内で点火装置を使って爆発させ、音と光を発しながら水が発生する実験、ダイヤモンドを燃焼させて二酸化炭素ができる実験、ドライアイスに閉じ込められたマグネシウムを燃焼させ炭素ができる実験などを観察した後、そのしくみを原子や分子モデルのアニメーションで説明を受けた。いずれも興味関心を引くものであった。
2・3時間目は、2～3人一組の班ごとに、設定されたマグネシウムの質量を測りとり、燃焼させたときに結びつく酸素の質量との比を調べる実習を行った。ガスバーナーや、電子てんびんの使い方、測定結果のグラフ化、質量比の関係性の考察など一連の学習の理解を深めた。生徒達は協力し合い、積極的に実験や発言をするなど、実りある理科学習ができた。

止まれ　交通安全教室開催

時　5月23日
於　北陵ホール

出雲警察署の高橋一弥巡査に講師としてご来校いただき、パワーポイントを用いて講義をしていただいた。また、実際に自転車を用いて、点検方法や乗り方なども実演していただいた。中高生の間は自転車に乗る機会も多いかと思う。今回学んだことを生かし、安心安全な学校生活を送れるようにしてもらいたい。



キャリア教育（進路学習）

時　6月14日
於　2年教室・北陵ホール

中学2年生
講師：株式会社　シーエスエー　和田正志　様
演題：「働くとは何か」

中学3年生
講師：出雲税務署　財務技官　石飛朗雄　様
演題：「租税と仕事」

中学2・3年生を対象にキャリア教育研修を実施し、それぞれ講師をお招きしてご講演いただいた。
2年生は社会で働くことへのイメージを膨らませ、自分の将来について考える良い機会となった。3年生は税金と仕事の関わりについて学習した。税金の使い道について模擬選挙を通して考えるなど、将来の暮らしに役立つ内容であった。
両講演ともキャリアを考える上で非常に有意義な研修となった。

作品と研究

県総体を終えて

卓球部　佐藤　卓斗（3-4 北陵）

私達卓球部は、6月1日から3日まで益田市民体育館で開催された島根県高校総体に出場しました。

団体戦は、周囲から「優勝して当たり前」という見方をされ、私達が想像していた以上の大きなプレッシャーを感じながらの試合となりました。メンタル的に受身になり、劣勢に立たされる場面も多くありましたが、出場した選手とベンチやスタンドから声を嗄らして声援を送った部員、遠路にも関わらず応援に駆けつけてくださった保護者の皆様の力を結集して、13連覇を成し遂げることができました。決勝で対戦した松徳学院対策は数ヶ月前から行い、万全の状態で決勝戦に臨みましたが、それ以上にチーム全員の「絶対に勝つ」という気持ちが相手を上回ったと思っています。昨年12月から連敗していた松徳学院に勝てたことは、大きな自信に繋がります。

また個人戦においてもシングルス、ダブルス共に優勝することができ、団体戦を含めて3種目を完全制覇することができました。ただ私達の目標は県総体ではなく、インターハイでの上位入賞です。今回の結果に満足することなく、県総体で明確となった課題を今後の練習で克服していこうと思います。インターハイは各県の厳しい予選を勝ち抜いた選手だけが出場するので、より一層厳しい練習に取り組み、残り二ヶ月間で少しでもレベルアップして臨みたいと思います。

県総体の好成績は、日頃から私達の活動を支えていただいている皆様方のお蔭だと思っています。保護者の皆様、卓球部後援会の皆様、校長先生をはじめとする学校関係者の皆様に対する感謝の気持ちを胸に、インターハイでは自分達の力を十分に発揮したいと思います。今後ともご声援の程よろしくお願い致します。

男子ソフトテニス部　田中　蒼（3-5 出）

「ファイトー！」コート中に響き渡る声。今年の総体は声出しの制限が解除されました。6月1日から三日間、総体に出場しました。

結果は、個人戦ベスト32が2ペア、ベスト16が1ペアで中国大会へは1ペアが出場となりました。団体戦では、準決勝で浜田高校に0対2で負け3位でした。個人・団体共にインターハイに行くことができず、とても悔しい思いをしました。結果だけを見ればもっと上位にいけたのかなと思ったり、悔いが残り残念な気持ちになってしまいます。

しかし、この結果はこれまでの三年間のやってきたことの積み重ねだと思います。今まで楽しいことやおもしろいことだけでなく、キツイ練習、上手くいかず悩むこと、叱られることなど様々な壁にぶつかってきました。それらを乗り越えようと努力しあった仲間がいたり、支えてもらった人がいるから自分やチームの皆は技術だけでなく心も成長できたのではないかと思っています。新人戦や中国予選で越えられなかった団体戦ベスト4の壁を最後の総体で越えることができました。この結果は試合に出た選手だけでなく、応援を共にしてきたみんなの勝利だと思います。

また、今までコロナ禍によって声出し有りの応援が制限されていましたが、今年はそれがなくなり自分達の応援を一から作りました。応援の声があるだけですごく前向きになれるんだと試合を通して感じ、応援の力ってすごいなって思いました。

自分はこの一年間、キャプテンを務めました。最初は、なかなか指示が通らず怒られたり、余裕がなく自分のミスも増えたりなど上手くいかない時がありました。

しかし、ここまで諦めずにできたのは親やチーム、先生の存在があったからです。チームをまとめることの大変さや責任感。これらの経験を生かせるように生活していきます。

最後に、今まで支えてくださった方々に改めて感謝します。これからもソフトテニス部の応援をよろしくお願いします。

女子ソフトテニス部　木村　香夏（2-3 麦東）

私達女子ソフトテニス部は6月1日から3日に松江運動公園で行われた県総体に出場しました。

個人戦は2ペアがインターハイ出場の権利を獲得し、団体戦は準優勝でインターハイ出場の権利を獲得することができませんでした。私達の目標は団体優勝をし、インターハイに出場することでした。県総体まで、フィジカルトレーニングをしたり、毎日の部活や練習試合などではお互いを高め合いながら日々練習してきました。厳しい時もありましたが声をかけ合い、この日に生かせるようにレベルアップすることができたと思います。目標としていた団体優勝は達成することができませんでしたが、チームが一つになって大会に臨むことができました。これまでの大会は新型コロナウイルスの関係で、声を出して応援をすることができませんでしたが、県総体から声を出して応援することが可能になりました。点が決まると選手と応援をするチームメイトが向かい合ってガッツポーズをし、一緒に盛り上がることができたのでよかったです。

決勝で負けた悔しさを忘れず、チーム力を大切にして次につなげていきたいと思います。

男子バスケットボール部　曳野　徳二（3-5 湖北）

僕達男子バスケットボール部は、県総体の前期では、初戦に出雲高校、準々決勝で浜田商業と対戦し、勝利し、準決勝へ駒を進めました。どちらの試合も立ち上がりから重く、良い試合運びとならず、後期へ不安を残す形で前期を終えました。迎えた一週間後の準決勝では、益田高校と対戦となり、この試合も立ち上がりが悪く、点を取ってもすぐ取り返される展開が続き、前半を4点リードで折り返しました。後半気合いを入れて、守備から流れを持ってきて、良い攻撃に繋げることに成功し、最終クォーターで相手を一気に突き離して、86対51で勝利しました。そしていよいよ決勝戦を迎えました。相手は松江東高校でした。目標は県総体を優勝し、インターハイで2勝以上することだったので、試合前から今まで以上に気合いを入れ、今大会最大の団結力で試合に挑みました。今大会から観客数の制限がなくなり、声を出しての応援が解禁され、会場のボルテージが高く、緊張感に包まれながら試合がスタートしました。残念ながら立ち上がりから波に乗れず、相手の得意なプレーで得点を重ねられたり、ファールトラブルに陥るなど劣勢でゲームは進み13点ビハインドで前半を終えました。このままでは後がないとハーフタイムで気合いを入れ直しました。後半は守備から相手のミスを誘い出し、自分達のペースに持ち込むことができ、良い流れで攻撃ができました。そしてついに残り2分で逆転に成功しました。しかし、この勢いのまま相手を突き離すことができたら良かったのですが、追加点をとることができず、また自分達のミスもあり、残り数秒で逆転のフリースローを決められ、76対77の僅か1点差で競り負け、結果は2位に終わりました。

目標であった優勝にあと一歩届かず、とても悔しい結果ではありますが、2週間後に中国大会があるので、この大会で見つかった課題を必ず修正して大会に臨めるようにしたいです。また三年生は、全員で一緒にできる最後の大会なので、悔いの残らないバスケットをして、みんなで笑顔で終わりたいです。

最後に、県総体が無事に行われ、僕達がバスケットをできる環境があたりまえではないと改めて感じました。大会運営の方や、日頃から支えてくださっている方々に常に感謝し、プレーしていかないといけないと思いました。

会場に来て応援してくださった方々や、日々サポートしていただいた皆様、応援本当に有難うございました。今後も「ひたむきな心」で頑張っていきますので、これからも応援よろしくお願いします。

令和5年度春季写真コンクール特選作品

今月の1枚　「何の用だ?」

喜多川宗真（2-2 出）